

アービタックス + FOLFIRI 療法

FN 低:催吐性 中
診断名:進行大腸癌

○投与スケジュール (1 コース 28 日)

Day1, 8, 15, 22(点滴):アービタックス div 250mg/m²、400mg/m²(初回投与のみ)

Day1, 15(点滴):イリノテカン(CPT-11) div 150 mg/m²

Day1, 15(点滴):レボホリナート(I-LV) div 200 mg/m²

Day1, 15(点滴):フルオロウラシル div 400mg/m²

Day1~2, 15~16(持続静注):フルオロウラシル continuous civ 2400 mg/m²(全体量)

Day2~Day3、 Day16~Day17(内服):デカドロン8mg 分2 朝・昼の内服

○注意事項

アービタックス特有の有害事象:インフュージョンリアクション 10%程、皮膚症状(ざ瘡様皮疹、爪
囲炎等) 80~90% 下痢 50%、電解質異常 30~40% 他

頻度が少ないが注意を要するもの: 間質性肺炎、眼障害、心障害

インフュージョンリアクションのリスクがなければアービタックスのみの投与日はステロイドは不要

2019 年 9 月 2 日より施行

●アービタックス、ベクティビックスの皮膚障害を軽減する薬セット

★予防のミノマイシンについては、主治医の判断で処方をお願いします。また、処方される場合は2週間程度の処方とし、定期的な採血と副作用のチェックをお願いします。

< 予防または治療に使用する薬 >

Rp1. ミノマイシン錠 又は ミノマイシンカプセル

1回 50 mg 1日 2回 朝夕食後（治療当日より）

1回 14日分程度処方し、定期的な副作用チェックをお願いします。

[相互作用]：金属カチオン（Mg, Ca, Al, Fe等）と同時服用した場合、キレート形成しミノマイシンの薬効が低下します。2時間程度ずらして服用すれば大丈夫です。同時服用薬剤にご注意をお願いします。

Rp2. ヘパリン類似物質クリーム 又は ビーソフテンローション

1日 2～数回 乾燥しているところ（治療当日より）

< 症状が出たら使用する薬 >

Rp3. ロコイド軟膏（マイルド）

1日 2回 朝夕 顔

Rp4. マイザー軟膏（ヘリーストロング）

1日 2回 朝夕 顔以外